

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公表番号】特表2004-538419(P2004-538419A)

【公表日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-050

【出願番号】特願2003-520966(P2003-520966)

【国際特許分類第7版】

F 0 1 N 5/02

F 0 1 N 7/08

F 0 2 B 37/00

F 0 2 B 41/10

【F I】

F 0 1 N 5/02 F

F 0 1 N 7/08 B

F 0 2 B 41/10

F 0 2 B 37/00 3 0 1 G

【手続補正書】

【提出日】平成16年3月23日(2004.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エンジンの排気ガスを誘導する排気系であって、該エンジンの燃焼用空気のための圧縮機(13)を駆動する過給タービン(11)と、該排気系において前記過給タービンの下流に配置されて、変速機を介した該内燃機関のクランク軸への排気ガス流から残留エネルギーを抽出する排気タービン(15)とを有しており、さらにまた前記排気タービン(15)の下流に配置される排気ブレーキスロットル(16)を含む排気系からなるタービン複合形内燃機関の構成において、

前記排気ブレーキスロットル(16)は、排気制動圧力の少なくとも1段階の可変調整を「オフ」および「オン」の段階に加えて可能にする圧力制御式排気圧調整装置(22)からなり、前記排気圧調整装置(22)は、前記排気制動圧力をエンジン速度に適合させる手段を備えることを特徴とする構成。

【請求項2】

前記排気ブレーキスロットル(16)は、前記排気系において前記排気タービンの下流に配置される排気スロットルと前記排気圧調整装置により調整される平行な迂回路とからなることを特徴とする請求項1に記載の構成。

【請求項3】

前記排気圧調整装置は、前記排気ブレーキスロットル(16)が閉鎖されているときに排気圧の作用を受ける第1のピストン面(23)と、前記第1のピストン面に永久的に接続されており、制御圧力の作用を受ける第2の反対側のピストン面(25)とによって構成されるピストン弁(22)からなることを特徴とする請求項1または2に記載の構成。